

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
 廃炉加速化研究プログラム（国内研究）
 事後評価総合所見**

研究課題名：汚染コンクリートの解体およびそこから生じる廃棄物の合理的処理・処分の検討 研究代表者（研究機関名）：小崎 完（北海道大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：田中 万也（日本原子力研究開発機構） 再委託先研究責任者（研究機関名）：川崎 大介（福井大学） 研究期間及び研究費：平成28年度～平成30年度（3年計画） 56百万円					
項 目	要 約				
1. 研究の概要	<p>福島第一原子力発電所格納容器内コンクリートの事故時温度分布解析に基づき模擬変質コンクリート試料の調製およびそれを用いた特性評価、拡散・収着試験を実施することで、コンクリート材料の汚染分布の経時変化の現象理解を図る。また、発生する放射性コンクリート廃棄物の放射能レベル区分および物量等の将来予測を行うことで、福島第一原子力発電所のコンクリート材料に対する最適な解体、処理・処分方法を明らかにする手法の確立を目的とし、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 変質コンクリートの調製 2) 核種移行特性の評価 3) 廃棄物管理シナリオ評価 				
2. 総合評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50px; vertical-align: middle;">S</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理・処分の研究においては、個々の研究が多く、全体を俯瞰したシナリオを作成したことは評価できる。 ・ 重要となる拡散係数について、検証等は必要であるが、本研究にて成果として示したことは評価できる。 ・ 廃棄物量とその汚染の度合いによる処分場の区分を明確にするなど、総合的にも優れた成果を得ていると評価できる。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p> </td> </tr> </table>	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理・処分の研究においては、個々の研究が多く、全体を俯瞰したシナリオを作成したことは評価できる。 ・ 重要となる拡散係数について、検証等は必要であるが、本研究にて成果として示したことは評価できる。 ・ 廃棄物量とその汚染の度合いによる処分場の区分を明確にするなど、総合的にも優れた成果を得ていると評価できる。 	<p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p>	
S	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理・処分の研究においては、個々の研究が多く、全体を俯瞰したシナリオを作成したことは評価できる。 ・ 重要となる拡散係数について、検証等は必要であるが、本研究にて成果として示したことは評価できる。 ・ 廃棄物量とその汚染の度合いによる処分場の区分を明確にするなど、総合的にも優れた成果を得ていると評価できる。 				
<p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p>					